

# 天気のみカタ

気象キャスターが解説!

## 春は雨が增える季節



わたべ けいご  
渡部 圭吾

気象予報士・防災士、静岡県浜松市出身。静岡朝日テレビ「とびっきり!しずおか」「とびっきり!しずおか土曜版」でお天気コーナーを担当。地元目線で分かりやすく伝えることをモットーにしている。趣味はバイク、季節の風を感じながら走るの格別。また今年からサックスを習い始め、いつか天気に関する曲を多く吹けるようになりたいと練習中。

静岡の降水量(平年)

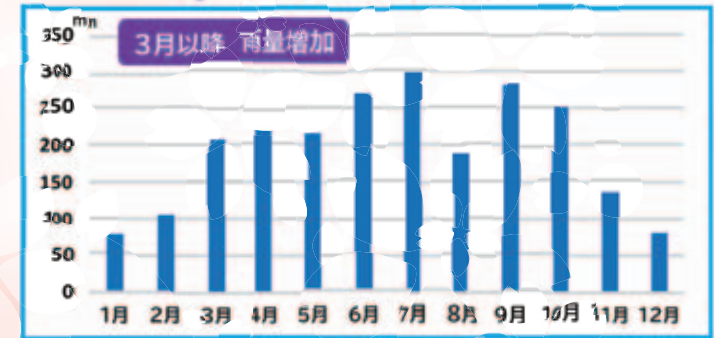


図1: 月別降水量

静岡の暖候期に要注意  
局地的な前線  
2020.7.27 23時30分 1時間総雨量  
1時間に80%多い雨  
沿岸部での発生例  
静岡地方気象台ホームページより

発生の原因  
冷氣  
夜間に冷える  
前線発生  
暖気

植物の成長を促す雨  
催花雨 花を開花させる  
木の芽雨 木の芽を膨らませる  
甘雨 草木や農作物を潤す

図3: 静岡特有の雨

図2: 植物の成長を促す雨

寒かった冬も終わり、春本番の陽気が増えてきました。桜や菜の花、チューリップなど明るい色の花が咲きそろい、木々の若葉も清々しいですね。街を歩いていると、植物から元気をもらえる気がします。冬から春にかけては、天気が大きく変わる季節です。気温が上がると、日差しが強まり、日が長くなるなど、夏に向けての助走期間のようですが、雨量が増えることも特徴のひとつです。

### 静岡の春は雨量が急増

「春に三日の晴れなし」ということわざがあります。日本付近には大陸方面から低気圧と高気圧が交互に進んできて、天気は周期的に変化するため、晴天が3日も続かないことが多いです。冬の間は晴天が多かった太平洋側でも雨の降るタイミングが増え、雨量が多くなります。

### 春から大雨に注意

#### 静岡県特有のパターン

春の雨は植物の成長を促す一方で、大雨をもたらすような激しい雨が降ることがあります。その原因の一つが「局地的な前線」です(図3)。静岡特有の雨。

静岡県内では暖候期(4月~9月)に活発な雨雲のラインが発生し、大雨をもたらすことがあります。暖かく湿った南風が強まっている時、風がぶつかる山間部で雨雲が発生します。雨が降ること、山間部の空気が冷え、その冷気と暖気の気温差によって前線が発生し、新たな雨雲が湧きやすくなる現象です。気温が下がりやすい夜間や早朝に発生し、時には猛烈な雨を降らせることもあります。予測がとて難しく、天気予報に十分反映できないこともあります。発生する可能性があるときは、注意を呼び掛けるようにしています。

### 復興に向けて歩む熱海・伊豆山

大雨災害で記憶に新しいのが、昨年7月3日に発生した熱海市の土石流災害です。活発な梅雨前線の影響で雨が降り続き、伊豆山地区で大規模な土石流が発生、多くの方の命や財産を奪う災害となってしまいました(写真1・伊豆山の被災地)。1958年の狩野川台風、1974年の七夕豪雨に匹敵、静岡県史に残る大災害です。私は当日、テレビ番組で大雨



熱海市伊豆山の被災地  
2021年12月24日 渡部撮影

▲写真1: 伊豆山の被災地



臨時アメダス「熱海伊豆山」  
2021年12月24日 渡部撮影

写真2: 熱海伊豆山アメダス▶

情報を伝えていましたが、刻々と入る土石流の映像に衝撃を受け、言葉を失いました。災害発生から半年以上が経ちましたが、現地では復旧作業等が進められています。静岡地方気象台では発災直後から伊豆山地区に、臨時のアメダス「熱海伊豆山」を設置し、気象観測を行っています(写真2)。熱海伊豆山アメダス)。被災地で行われる捜索や復旧活動に携わる方の安全を守るためです。

伊豆山小学校の校庭の脇に設けられた機器で気温と雨量、風向・風速を観測しています。得られたデータは大雨時の防災情報や、夏場の熱中症対策に使われます。気象台も気象観測を通じて、伊豆山地区の復興の下支えをしています。

### 大雨に対する防災意識を高めよう

静岡県は全国的に見ても雨が多い地域です。南側には太平洋、北側には南アルプスや富士山など高い山々がそびえているため、雨雲発生の原因となる暖かく湿った南風を受け止めやすいためです。大雨災害に遭わないためには事前の備えが大切です。防災用品の準備をはじめ、お住まいの地域の危険な場所の把握など、ハザードマップなどで確認をお願いします。春の穏やかな陽気の中、散策しながら避難経路を実際に歩いてみるのも良いと思います。